

2025年

6月号

# メディネット



Vol.260



船を追うカモメ（静岡県伊東市）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

## Topics

Topics1

婦人科良性疾患に対する  
ロボット支援下子宮全摘術の導入

Topics2

津山中央記念病院増築棟完成および  
津山中央クリニック統合について

# 婦人科良性疾患に対する ロボット支援下子宮全摘術の導入

産婦人科 部長

さかて しんたろう

**坂手 慎太郎**

専門医・指導医

- ・日本産科婦人科学会専門医・指導医
- ・日本周産期・新生児医学会専門医（母体・胎児）
- ・日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医  
(腹腔鏡・ロボット手術)
- ・ダヴィンチコンソールサージョン



## †はじめに

本邦における婦人科疾患に対するロボット支援下手術は、2018年に良性疾患に対する子宮全摘術、早期子宮体癌に対する子宮悪性腫瘍手術、2020年に骨盤臓器脱に対する仙骨腔固定術が保険収載されました。患者さんへの身体への負担(侵襲)を軽減する低侵襲手術の中で、ロボット支援下手術の歴史は浅いものの、既に重要な役割を果たしています。当院でも昨年12月より婦人科良性疾患に対するロボット支援下子宮全摘術を開始しました。

## †ロボット支援下手術の特徴

手術に於ける低侵襲性は、従来の開腹術と比較して手術創を小さくするだけではなく、拡大視野での繊細な操作による精密手術が重要な要素で、当院で採用しているda Vinci Xでは高精度3D視野、エンドリスト、モーションスケールが特徴的な機能です。エンドリストは2関節を持つことより人の手より広い可動域を有し、手ぶれ補正既往により微細かつ正確な操作が可能となります。モーションスケールは実際の手の動きとロボット手術用鉗子(インストゥルメント)の動きを最大5:1に調整できるため、狭い空間でのより繊細な操作が可能となります。術者の手の動きと一体化した直観的な操作が可能

で、従来の腹腔鏡下手術より技術習得までの時間(ラーニングカーブ)が短いとされています。ロボットアームによる腹壁挙上効果が術野確保に有効であるため、BMI35以上の高度肥満の少ない本邦では25–40° の steep trendelenburg 体位を必要とせず、腹腔鏡手術と同等の低気腹圧(8–10mmHg)で手術が可能で、さらに脂肪周囲組織からの出血に細かく対応できることなどから肥満患者での有用性も高いとされています。鉗子に触覚が無いことが欠点とされていましたが、2023年にはリバーフィールド社より触覚を有する手術ロボットシステムである「Sarota サージカルシステム」が販売されました。現在も国内外での手術支援ロボットの開発が進んでおり、更なる手術精度の向上や低侵襲化、急速に普及しつつあるAIとの適合、ロボット本体やアームの小型化や低価格化が進むことが予想されます。

### †婦人科良性疾患に対するロボット支援下子宮全摘手術

従来の腹腔鏡手術と同じく腹部に4本のトロッカーを設置します。ロボットアームに接続した内視鏡カメラと2本のインストゥルメントを挿入します。左下腹部の5mmのトロッカーからは助手が鉗子を挿入し、腸管の授動や吸引送水、針の出し入れなどを行います。一般的に大型子宮、頸部筋腫、高度癒着症例(子宮内膜症)は高難度症例とされていますが、高難度症例に対しても安全にロボット手術を実施するためには、手術支援ロボットを操作する術者のスキルや知識の向上とともに、多くの症例を経験し施設としての経験値を増すことが重要と考えています。



ダヴィンチ術中写真

# 津山中央記念病院増築棟完成および 津山中央クリニック統合について



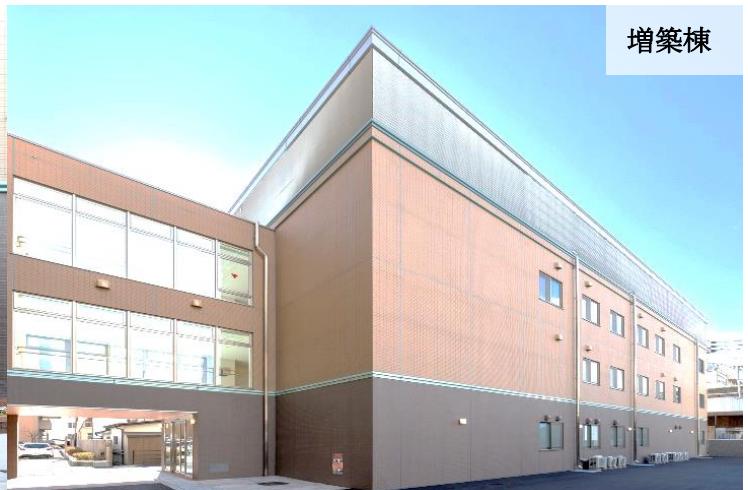
令和7年2月25日 記念病院外来が新棟に移り、早3ヶ月が経とうとしています。

現在、平良院長始め5名の常勤医、他6名の非常勤医師で外来診療が行われています。診療科は、内科・消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・腎臓内科・呼吸器内科・リウマチ内科とあり、新たに脳神経外科・外科・腎臓外科が立ち上がり、バリエーションに富んでおります。また、今迄通り発熱外来、救急受け入れもしております。そして内視鏡も新棟に開設しており、月曜日・金曜日の午前胃カメラ、月曜日の午後大腸カメラが施行され、平良院長、看護師2名、臨床工学技士1名での対応をしており充実したものとなっております。

新棟は白を基調に清潔感のある造りとなっております。ただし、総合受付・放射線科・検査科へ行く導線が長くなり患者様にご負担をお掛けする事もあります。必要な方には各部署にスタッフが付き添い、転倒、事故のない様に努めています。

平良院長の目標としている風通しのよい職場である様スタッフ一丸となり感謝の気持ちを忘れず、患者様から「この病院に来て良かった」の声が増える様、まい進してまいります。皆様も機会があればお立ち寄りください。

津山中央記念病院  
看護部 岡田 由美



2025年5月より津山中央クリニック（整形外科・皮膚科・小児科）は記念病院に移転し、新しい場所でお迎えさせていただいている。従来のスタッフとともに、新しく整形外科の高城先生も加わり、より一層精進してまいります。患者様の気持ちに寄り添い、ほと安堵していただける、笑顔になっていただける医療と看護を目指していきたいと思います。

津山中央記念病院  
看護部 谷元 洋子



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が連携し、入院・外来リハビリテーションを行っています。日常生活動作等の能力の向上や健康増進、体力の維持を目的としたリハビリテーションを通じて、日常生活を豊かにする為のサポートを行っています。また、透析センターのスタッフと協力して透析中の運動指導を行い、透析患者様の筋力や体力の維持向上を図っています。

津山中央記念病院  
リハビリテーション部 井上 隆志



透析センターは、約 160 人の患者様が通院し、1 日約 75 名程度の維持透析患者様が治療をしています。

安全な透析医療を提供するため、最新の医療設備と専門的なスタッフ体制を整え、血液透析（HD）を中心に、血液濾過透析（オンライン HDF）・腹膜透析などの治療法も取り入れています。患者様の体調変化に迅速に対応できるよう、看護師や臨床工学技士、医師が連携してサポートしています。

定期的なフットケア・栄養指導の実施、昨年よりリハビリスタッフと協働して、透析中運動リハビリを開始し、患者様の健康維持と合併症予防に取り組んでいます。さらに、病院内の連携を活かし、腎臓内科・循環器内科・糖尿病内科などの各診療科と連携した診療が可能です。

2025 年 4 月より腎臓移植外科医の診察(第 2 水曜日)も開始となり、腎移植への相談・移植後の診察もできるようになりました。また 5 月より第 3 透析室（5 床増床）の運用が開始し、感染症対応として陰圧個室 1 床を設けています。長期的な透析治療が必要な患者様一人ひとりの病状に合わせた治療と安心・安全な医療・看護が提供できるようスタッフ一同協力しています。

津山中央記念病院  
看護部 杉本 真由美



## クリニック閉院のご挨拶

2025年4月30日をもって、建物の老朽化等もあり津山中央クリニックを閉院することになりました。

建物は1979年に津山中央病院および津山中央看護専門学校及び寮として建てられました（詳細は津山中央病院70年史に掲載されているので是非一読下さい）。その後、津山中央病院の川崎地区の移転に伴い、二階町の地区に、地域に根ざした医療機関をということで外来機能を持つクリニックとして津山中央クリニックは開設されました。その後津山中央記念病院が同じ二階町の敷地内に開設されることもあり、内科はそちらに移り、整形外科、皮膚科、小児科を中心として津山中央病院、津山中央記念病院と連携しながら外来を行ってきました。残念ながら、看護師寮も諸事情で閉鎖され、また築後45年以上となり、補修等も重なってきたこともあり閉院することになりました。

長きにわたり皆様に支えられてここまで大過なくこられたことを感謝いたします。この場を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。

幸い、津山中央記念病院が同じ敷地内にありますので、外来機能は特に変更することもなく移行することになります。皆様に大きなご迷惑をおかけすることはないと思いますので、今後ともよろしくお願いいいたします。



Tsuyama Chuo Clinic



津山中央クリニック  
名誉院長 宮本 亨

# セミナー・講演会情報

## ●出張 CC セミナーin 真庭 (Web併用のハイブリッド形式)

講演 『 はじまして、膝関節外科医の田村優典と申します

～MMPRT と膝周囲骨切り術を中心に～ 』

**※日本医師会生涯教育講座申請中 (0.5 単位 : CC 61)**

- ・講師 整形外科 医長 田村 優典 先生
- ・日時 2025年6月10日(火) 19:00~19:30
- ・場所 真庭あぐりガーデン  
(真庭市中396-1 TEL: 0867-45-7333)

## 地域連携室からのお知らせ

### ～紹介元医療機関からの予約について～

◆紹介予約は原則お電話ではなく、『紹介予約申込FAX用紙』をご記入の上、**FAX**にてお送りください。

◆『紹介予約申込FAX用紙』は**FAX**前にチェック項目に漏れがないかを今一度ご確認いただきますようお願いいたします。

◆来院当日は紹介状とお薬手帳をご持参いただきますようお願いいたします。

#### お申し込み先

津山中央病院 地域連携室

●受付時間：平日 8:30~17:00

(※整形外科、手外科は 16:00まで)

●FAX: (0868)-21-8201 (直通)

TEL: (0868)-21-8111 (代表)

内線: 3842・3843

※時間外のお申し込みは、翌勤務日のお返事とさせていただきます。

※土曜日・日曜日・祝日・12月31日～1月3日は受付を行っておりません。

